

欧米における社会的投資の発展

——社会的成果と投資収益の両立を求めて——

2014年5月10日

市民社会研究フォーラム

(発表者)

日本財団国際協力グループ

小林立明

1. 社会的投資への関心の高まり

2013年6月 G8サミット開催にあわせて英国政府が「社会的インパクト投資フォーラム」を開催。

主要合意事項

1. 社会的インパクト投資に関するグローバル・コミュニティの構築
 - ・ 国際的な社会的インパクト投資タスクフォースの設置
 - ・ 社会的インパクト投資に関する開発協力金融機関作業グループの設置
2. 社会的インパクト投資に関する共通枠組みの創設
 - ・ 社会的インパクト投資のグローバルな発展に関するOECD報告の立ち上げ
 - ・ インパクト測定 (Impact Measurement) 専門家による作業グループの設置
3. ベスト・プラクティスの開発・共有
 - ・ 社会的インパクト投資タスクフォースが政策担当者向けに基本原則 (Principles) を策定
 - ・ 英国政府が世界経済フォーラム・インパクト投資政策コラボラティブと共同でインパクト投資に関するグローバル・ラーニング・エクスチェンジを設立
4. その他の取り組み
 1. 英国政府:
SSE (Social Stock Exchange) 設立、社会的投資減税に関するヒアリング、ビッグ・ソサエティ・キャピタル (BSC) と英国宝くじ基金 (BLF) がコミュニティ資産基金を開発。
 2. 米国政府:
米国中小企業庁が中小企業の初期段階向け投資枠を拡大

(UK Cabinet Office (2013) より)

2. 社会的投資の定義

社会的投資とは、社会的目標と財務収益の双方の実現を目指す投資を指す。
The UK Social Investment Forum defines “social investment” as “financial transactions intended both to achieve social objectives and to deliver financial returns to investors.” (UK Social Investment Taskforce (2000))

関連概念

- **インパクト投資:**
 - 財務収益と共に社会・環境面でのインパクトを生み出すことを目指して企業、団体、基金に対してなされる投資 (GIINのウェブサイト)
- **社会的責任投資:**
 - 一般的には、「企業への株式投資の際に、財務的分析に加えて、企業の環境対応や社会的活動などの評価、つまり企業の社会的責任の評価を加味して投資先企業を決定し、かつ責任ある株主として行動する投資手法」と理解されてきました。また広義には、「社会性に配慮したお金の流れとその流れを作る投融資行動」を示すものとされてきました。(JSIFのウェブサイト)
- **社会的インパクト債:**
 - 社会的サービス供給費用の支払いに政府以外の投資を導入する金融手法の一つ。成功すれば、社会的価値と公共セクターの経費節減の双方を実現することができる。投資家は、政府が節減した経費の一部から財務リターンを受け取ることができる。(Emily Bolton & Louise Savell (2010))
- **ベンチャー・フィランソロピー:**
 - 社会に関わるインパクト(社会、環境、芸術など)増進のために、資金的及び非資金的支援の双方を提供することを通じて、より強力な社会目的団体の構築を図るフィランソロピーの一形態。資金的支援には、グラントのみならず、社会的団体のニーズにあわせた一連の資金提供メカニズムを使用する。(EVPAのウェブサイト)
- **社会的企業**
 - 一般的には、労働市場の統合、社会的包摂、経済発展に貢献する社会的・経済的諸目標を達成する革新的なビジネス・モデルと理解されている(非営利団体、協働組合、多様なハイブリッド団体を含む。)(Antonella Noya ed. (2009))

3. 社会的投資の発展 I (英国)

社会的投資政策 開始

1998年
労働党政権が英国市民社会とのコンパクト締結

2000年
社会的投資タスクフォース(SITF)設立

2000年
SITF第1回報告発表

コミュニティ開発 金融の発展 (金融包摂)

2001年
コミュニティ開発金融協会(cdffa)設立

2001年～2006年
フェニックス基金、コミュニティ構築基金等設立

2002年
コミュニティ投資優遇税制(CITR)成立

2003年
金融包摂タスクフォース設立、金融包摂基金発表

社会的企業向け 投資の発展 (社会的企業)

2004年
コミュニティ利益会社(CIC)法制化

2004年～2007年
未来構築基金、社会的企業基金等設立

2006年
英国第3セクター局設立

2006年
「社会的企業の投資アクセス」プログラム

社会的投資の 多様な展開 (公共政策中心)

2009年
社会的インパクト債導入

2010年
保守党・自由民主党連立政権が新コンパクト発表

2012年
ビッグ・ソサエティ・キャピタル(BSC)設立

2013年
Social Stock Exchange (SSE)設立

4. 社会的投資の発展Ⅱ（米国）

コミュニティ開発金融 （金融包摂）

1976年
コミュニティ再投資法
（CRA）

1986年
低所得者住宅向け税額
控除制度（LIHTC）

1990年代
全米コミュニティ開発機
関（NCDI）
コミュニティ開発金融機
関基金（CDFI Fund）

ベンチャー・フィラ ンソロピーの展開 （社会的企業）

1990年代
ベンチャー・フィランソ
ロピーの発展

2000年代
低収益有限責任会社
（L3C）、B-Corp等導入

2009年
オバマ政権が社会革新
基金（SIF）設立

インパクト投資の 発展 （インパクト投資）

2001年
アキュメン・ファンド設立

2007年
ロックフェラー財団イン
パクト投資イニシアチブ

2007年
グローバル・インパクト
投資ネットワーク（GIIN）
設立

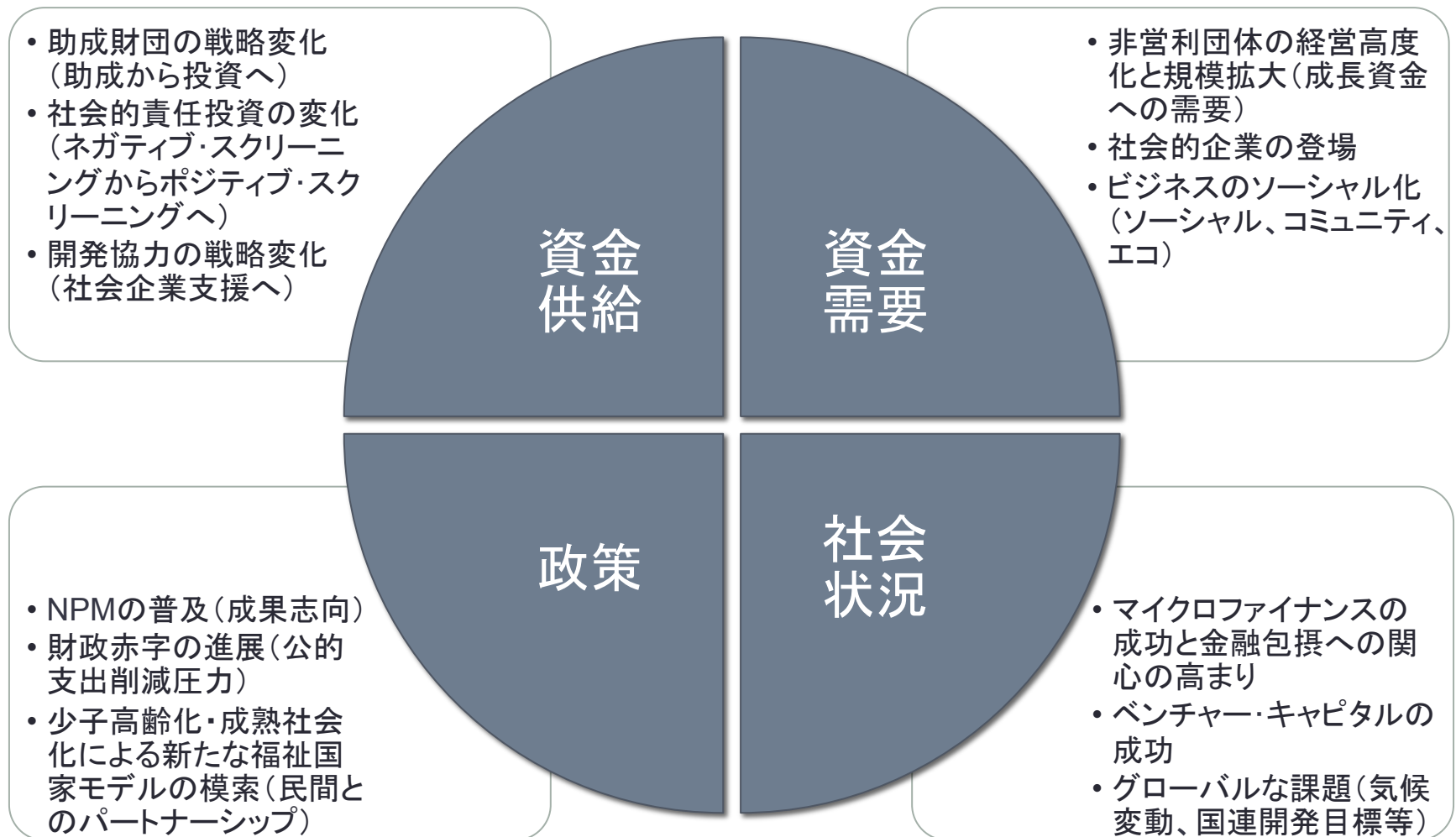
社会的投資の 多様な展開 （民間投資中心）

2012年
成功報酬債（Pay for
Success Bonds）開始

2010年～
インパクト報告・投資スタ
ンダード（IRIS）、グロー
バル・インパクト投資
レーティング・システム
（GIIRS）等の普及

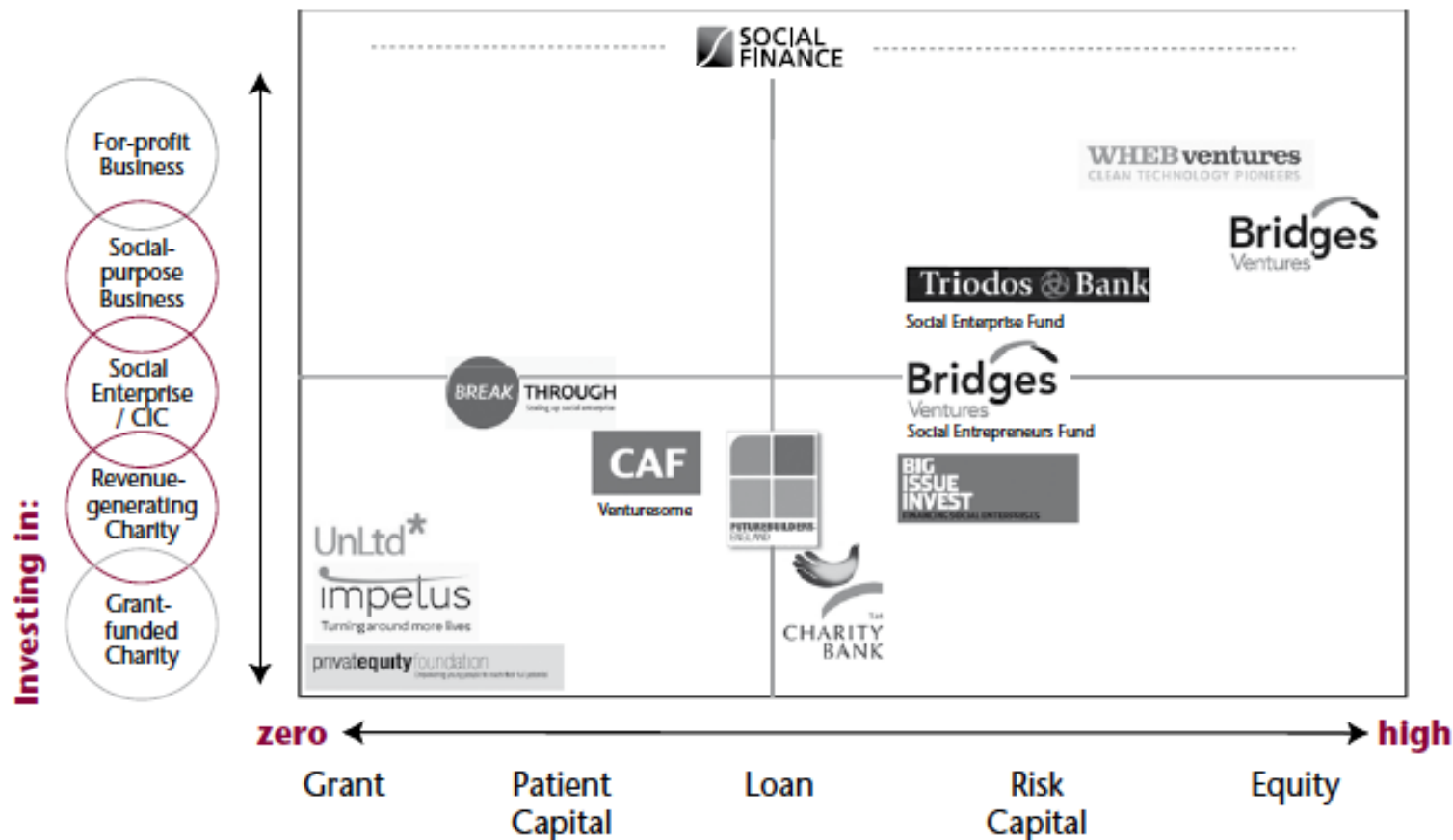
2014年
ゴールドマン・サックス社
会的インパクト基金、
モーガン・スタンレー持
続可能な投資研究所等

5. 社会的投資発展の背景



6. 社会的投資の多様性

社会的投資は、担い手（公的機関、財団、民間金融機関等）、対象（非営利団体、社会的企業、ソーシャル・ビジネス等）、手法（グラント、ローン、エクイティ等）、領域（コミュニティ開発、社会的企業支援、開発協力等）などで多様な発展を遂げている。



7. 社会的投資発展の可能性

英国政府によると、2011年12月時点での英国の社会的投資市場の規模は2億ポンド。2013年時点で13の社会的インパクト債を運用している。こうした支援による社会的企業セクターの経済に対する貢献は、550億ポンドにのぼると推定される。

NEW SOURCES OF FINANCE

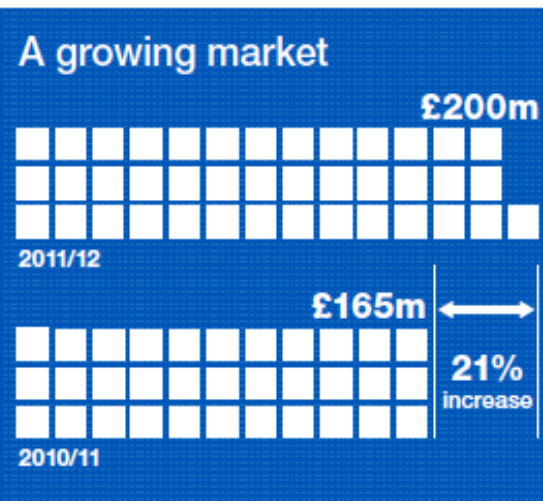


PUBLIC SERVICE REFORM

1 SIB in 2010

13 SIBs in 2013

The UK has more Social Impact Bonds than the rest of the world put together



INNOVATION

Social enterprises developed more new products and services than other SMEs

■ Social Enterprises

■ SMEs



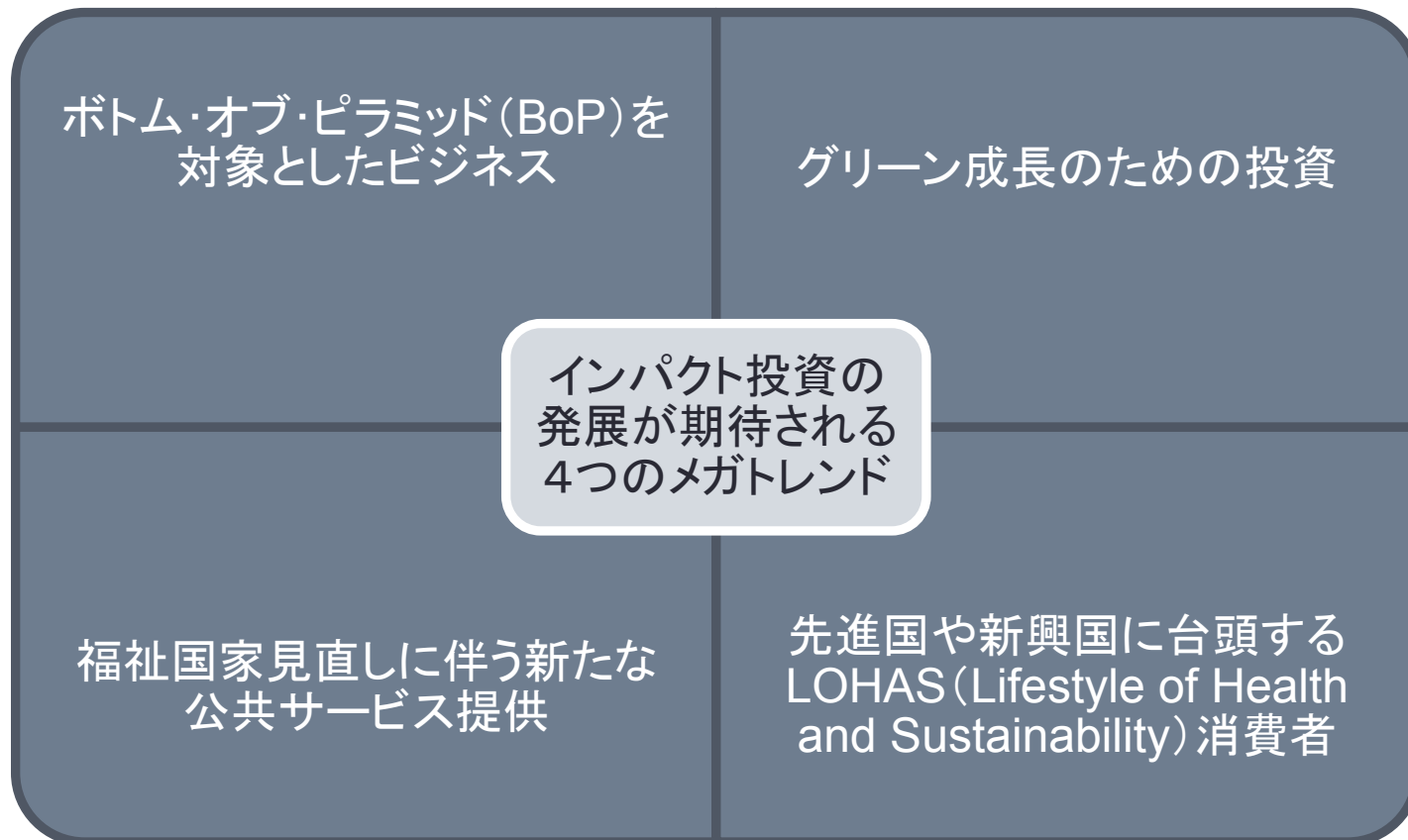
ECONOMIC GROWTH

Social enterprises contribute over
£55bn each year to the economy, and employ...



8. 社会的投資発展の可能性(続き)

Drexler, M. & Noble, A. (2013)によると、全世界のインパクト投資市場の規模は、現在、約250億ドル。2020年までには、4,000~6,500億ドルまで成長するという推計もある。Martin, M. (2013)は、インパクト投資が発展する可能性のある分野として、以下の4つのメガ・トレンドを挙げている。



9. 社会的投資発展のための課題

1. 供給面の課題

- 誰が資金を提供するのか
- リスクをどのようにコントロールするのか
- 投資リターンをどの程度許容するのか

2. 需要面の課題

- 投資受け入れ団体の法人格
- 投資受け入れ団体のニーズとキャパシティ

3. 制度面の課題

- 社会的成果の評価指標
- 投資先団体のレーティング
- 社会的証券取引メカニズム

4. 政策面の課題

- 社会的投資に対する優遇措置(税制、補助金)
- 財団資産の活用(ミッション関連投資、受託者責任)
- 政府の支援(資金提供、公共調達、社会的インパクト債等)
- 社会的投資市場のルール作り(市場の失敗への対応)

10. 非営利セクターにとっての課題

1. 事業団体にとって

- 資金源をいかに確保するのか(事業収入、公的補助、寄附。。。)
- どのような法人格を選択するのか(非営利、営利、ハイブリッド。。。)
- 営利化に伴うミッション・ドリフトをいかにコントロールするか
- 投資受入をどのようにマネージするか

2. 助成団体にとって

- 基本財産の運用リスクをどのように引き受けるか(基本財産の保持、運用収入の確保、受託者責任。。。)
- 支援対象をどのように選択するのか(非営利、営利、ハイブリッド。。。)
- ガバナンスをいかに再構築するか(利益相反、意志決定、実施体制。。。)

3. セクター全体にとって

- 社会的投資／社会的企業を軸とした新たなセクターとどう関わるのか(対立モデル、競合モデル、共生モデル。。。)

引用文献・情報源

- Bolton, E. & Savell, L. (2010) *Towards a new social economy: Blended value creation through Social Impact Bonds*. Social Finance
- Drexler, M. & Noble, A. (2013) *From the Margins to the Mainstream: Assessment of the Impact Investment Sector and Opportunities to Engage Mainstream Investors*. World Economic Forum
- EVPA (European Venture Philanthropy Association) evpa.eu.com
- GIIN (Global Impact Investing Network) www.thegiin.org
- HM Government (2013) *Growing the social investment market: 2013 progress update*. HM Government
- JSIF (社会的責任投資フォーラム) www.sifjapan.org
- Martin, M. (2013) *Making Impact Investible*. Impact Economy
- Noya, A. ed. (2009) *The Changing Boundaries of Social Enterprises*. OECD
- UK Cabinet Office (2013) *G8 Social Impact Invest Forum: Outputs and Agreed Actions*. UK Cabinet Office
- UK Social Investment Taskforce (2000) *Enterprising Communities: Wealth Beyond Welfare*. UK Social Investment Forum